

I 石巻の公民館の事業分類について

石巻市の公民館の事業は以下の5事業に分類される。

1 市民(一般)教養講座事業

【事業概要(目的)】

市民の学習ニーズに応じた学習機会の充実を図り、社会人として必要な広い文化的な知識の習得や健康増進を支援する。

【事業効果】

講座をとおして知識や技能の向上が図られることにより、日常生活に活かせる幅広い教養が向上する。

2 公民館青少年体験活動事業

【事業概要(目的)】

子どもの健全な成長を包括的に支援し、社会教育の基礎を育む。

【事業効果】

豊かな体験を積む、学びや遊びの場を提供することで、子どもの社会性や好奇心が育まれ、学びの充実度や自己肯定感が向上する。

3 公民館高齢者等生きがいづくり学習活動推進事業

【事業概要(目的)】

高齢者層や成人層に対しての学習機会の提供及び支援を通して、仲間同士のふれあいを深め、積極的に地域社会活動に参加する意欲と実践力を高めるとともに、潤いと生きがいのある生活の実現を図ることを目的とする。

【事業効果】

高齢者層や成人層のクオリティオブライフが向上する。

4 公民館地域づくり活動連携事業

【事業概要(目的)】

各公民館が、それぞれの地域の人財・資源を活かし、地域住民や団体との協働による地域づくりや学習機会の創造と提供に努め、地域住民相互の連帯意識の高揚と豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とする。

【事業効果】

協働の場となる公民館を拠点として世帯間が交流できる事業を行うことで、地域との繋がりを実感することができる。

5 公民館地域文化活動事業

【事業概要 (目的)】

公民館を利用する文化団体やサークル、地域住民等が製作した作品の展示や、日ごろの活動の成果を発表する場を提供することにより、地域住民の文化事業に対する理解や関心を深めるとともに、公民館で行う文化活動への参加を促し、生涯学習に対する意識の高揚を図ることを目的とする。

【事業効果】

公民館を利用する文化団体やサークル等の日ごろの学習活動の成果を発表する場を提供することにより、文化的活動へ意欲が高まり成果内容の向上が見込まれる。

II 石巻中央公民館が実施した分類ごとの主な事業について

1 市民教養講座事業

NO	新規	講座名	回数	参加人数
1		利用協講座「吹いてみよう尺八」体験会	4	4
2		利用協講座「ダンススポーツ初心者講習会」	4	28
3		利用協講座「フォークダンス初心者講習会」	2	11
4		利用協講座「夏休み宿題片付け大作戦」	1	9
5		ガーデニング講座	3	44
6	新規	木彫り教室 (前期)	6	92
7		木彫り教室 (後期)	6	70
8	新規	「カラオケ広場」	4	115
9		スマホの基本とLINE体験	1	18

POINT 教えたい人と習いたい人のニーズのマッチング

N06~7の「木彫り教室」は、石巻市や県内外が実施される美術展の審査員や入賞者4名が講師となり、全6回シリーズで実施した。

石巻市の美術展は立体彫刻の作品の出展が非常に少なく、周知と出展者の増加を図りたい講師側と新規企画を実施したい公民館側のニーズが一致したケース、事前の調査で、市内では、木彫り教室があまり行われていなかったことから開催を決定した。

審査員や入賞経験者が常時4名指導にあたる破格の待遇もあり、後期の開催に繋がったほか、令和7年度より新規サークルとして公民館で活動を開始した。

第38次宮城県社会教育委員の会議委員の实地調査訪問資料

R7.5.29 (木)

15:00~

2 公民館青少年体験活動事業

NO	新規	講座名	回数	参加人数
1		少年教室「チャレンジ書初め」	1	23
2		「げろっば祭り」	2	63
3	新規	「親子のできる母の日フラワーアレンジメント」	1	15
4		「親子のできるハロウィンフラワーアレンジメント」	1	6
5	新規	「おどる食育ペットボトルピザ」	1	28
6	新規	「でこしゃけ」	1	25
7		移動型児童館	12	657

(移動型児童館の内訳)

稲井地区	遊び場らいつがやってくる (移動型児童館)	1	40
河北地区	移動型児童館	2	206
雄勝地区	移動型児童館	2	81
河南地区	移動型児童館	1	95
桃生地区	移動型児童館	2	113
北上地区	移動型児童館	2	76
牡鹿地区	移動型児童館	2	46

POINT 他課・他団体との共催

一市六町で合併した石巻市は、旧石巻市にのみ児童館が1施設あるだけで旧六町にはないことを受け、各地区で年2回程度移動型児童館を開設している。

少子化が進むなか、公民館事業のみでは人数が集まらないことが多くあり課題であった。

移動型児童館に場所と備品の提供と、公民館職員を派遣することで共催とした。

社会教育の観点からジュニアリーダーの派遣やものづくりなどを行っている。

3 公民館高齢者等生きがいづくり学習活動推進事業

NO	新規	講座名	回数	参加人数
1		「石巻つくも大学」	10	90

POINT デジタルデバインド対策を盛り込む。

「つくも大学」は、年10回の講座と月2回程度のクラブ活動(任意)を行っている。

デジタルデバインド対策やネット詐欺対策は重要な社会課題であることから、講座に盛り込むことで対策とした。

第38次宮城県社会教育委員の会議委員の实地調査訪問資料

R7.5.29 (木)

15:00~

4 公民館地域づくり活動連携事業

NO	新規	講座名	回数	参加人数
1		いきいき花のプロジェクト	1	69
2		自転車と歩行者の安全教室	1	27
3		世代間交流事業 (協力事業)	1	103

POINT 地域課題に取り組む。

中央公民館は、地域課題に対し社会教育の観点から解決に向けての側面支援に取り組んでいる。「自転車と歩行者の安全教室」は、町内会や老人クラブなど地区の代表者で構成される「第2層協議体」での会議で課題として取り上げられたもので、講師の手配や会場の準備などを行うことで共催事業として実施した。

また、社会福祉協議会が実施する世代間交流事業にジュニアリーダーと公民館職員を派遣し地域と共同して事業を推進した。

5 公民館地域文化活動連携事業

NO	新規	事業名	実績 (R6年度2月末)					
			回数	ステージ 発表	展示団体	出展 人数	作品数	来場者 数
1		石巻中央公民館文化祭	20	20	8		718	1495
2	新規	石巻公民館文化祭公民館芸術祭	1	8				150
3	新規	石巻の彫刻家四人展	1			4	10	115

POINT 一体感の醸成と教養講座をきっかけとした企画展の実施

平成17年に一市六町で合併した石巻市には公民館が11館(旧市5館と各町に1館)あるが、全館の統一企画が一度も実施されなかった。

令和6年度に公民館組織の機構改革を実施し、中央公民館が「統括公民館」となったことで指示系統が統一され、同年9月に合併後初となる統一企画「石巻公民館文化祭公民館芸術祭」を実施することができた。

N03は、今年度開催した「木彫り教室」が盛況だったことを受け、石巻における彫刻への潜在的ニーズは高いと推測し、同教室の講師4名の作品展を開催した。

6 家庭教育支援事業子育てサロン「いっこクラブ」

家庭教育支援チーム「スマイルエンジェル」と協力し、平成23年9月にスタートした。震災の心のケアなども目的に未就学児の親子と手遊びや読み聞かせで交流し、子育ての相談にも応じている。

令和6年度からは、家庭教育支援チームが実施したくてもできなかった準備が煩雑なものや大規模な企画を、公民館がより積極的にサポートを行うことで内容のさらなる充実が図られた。

<いっこクラブ 「縁日」の様子 令和6年7月26日>



第38次宮城県社会教育委員の会議委員の現地調査訪問資料

R7.5.29(木)

15:00~



第38次宮城県社会教育委員の会議委員の現地調査訪問資料

R7.5.29(木)

15:00~

